







大同工業の日足チャート

# 大同工急落し新安値

## 公募で希薄化と需給圧迫を懸念

による売出を実施す  
 受ける発表示したことを  
 薄化や需給圧迫を懸  
 念した売りが膨らん  
 だ。発行済み株式数  
 は最大で約16%増え

3日、大同工業(637)は、3)は、急落、年初来安値を更新し、0万株の公募増資と1万株の自己株処分、19万株のオプション

4日、任天堂(7974)が反落、約1年ぶりの安値水準まで売られた。目立った売り材料は見当たらないが、下落基調が続くなかで売りが売りを呼ぶ動き。ニンテンドースイッチはインパクトのある新ソフトが不足していることから、ハードの伸び鈍化が懸念され、世界的な観画質ゲームが主流となるなかで、ライバル機に比べて劣勢に

# 任天堂は1年ぶり安値

4日、スシローグローバルホールディングス(3563)が続騰。6月度の月次売上高で既存店が前年同月比13.1%増と8カ月連続で前年実績を上回り、伸び率も前月の6.0%増から拡大した。客数、客単価ともに拡大しており、全店ベースでは20.9%増になった。

3日、ダイヤ通商(7462)がスト  
 ップ高まで買われ、約5カ月半ぶりに年初来高値を更新した。東京都豊島区のサー

# ダイヤ通商S高で新値

「SSYオンク大塚」を売却、固定資産売却益6億5000万円を19年3月期第4四半期に特別利益として計上すると発表。したことが買い手掛かりになった。資産効率が目的で、業績予想には修正が必要。開示するとしている。

## ◎株は底値買で大きく取るべし・門外不出の大伸流底値買成功法あり

### ◎日経平均に関係なく最近の底値買指示銘柄例(よくお調べください)(7月2日)

- 野村HD** → 待つ事久し6カ月前後、1月24日の高値750円より500円台に暴落中なり。此の大押目は最後の買場となり、目先600~650円、当面750円、大局1000円目標
- 三菱UFJ** → 894円の高値より新安値に突入、近々に逆三尊底打ちの絶好の拾い場示現後、再上昇相場に入り、目先730~750円、当面800~850円、大局1000円台へ押目買OK
- シャープ** → 東証1部に再上場となっても株価は5000円台より2000円台へ暴落しつづけている。一段安で買信号が出る。高値の買方助かる道教えます。
- 武田薬品** → 世界がビックリの7兆円問題で高値6693円より暴落中、一段安で断固買場待ちなり。底打ちすれば大幅なる戻り相場へ。関心ある方、今後に注目あれ。

◎当社の基本は大局倍化、当面5~6カ月50%高前後目標の投資の王道なり(迷える投資家は試見)

底値買銘柄は当社にお任せください・底値大幅高予想銘柄お知らせします(成果確認)(返信切手1000円要)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

**大伸経済研究社** 会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込)  
 (会費が高い少数の会員制なり)(広告参照)  
 (1年後の成果に自信ありお試ください)  
 (電話等による入会勧誘は一切致しません)

公表銘柄は一例であり全てではありません  
 目標値は当社独自の分析による予想値です

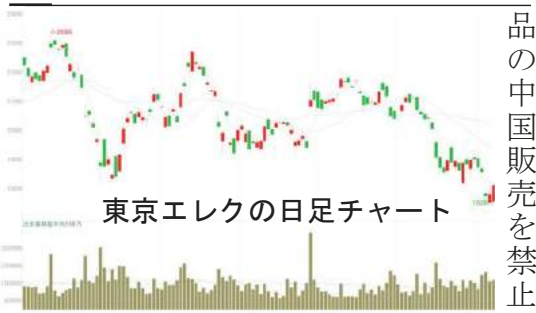
有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00)  
 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はこちらをクリック!](#)

# 半導体関連軒並み安

## 米マイクロンテク急落の余波

4日、東京エレクトロン(8035)、SCREENホールディングス(7735)が大幅安で年初来安値を更新したほか、SUMCO(3436)やディスコ(6146)、SMC(6273)など半導体関連株が軒並み安。米国株市場でマイクロン・テクノロジーが特許問題で一部製



品の中国販売を禁止

されたとの報道を受け急落、インテルやアップライドマテリアルズなども売られ、フィラデルフィア半導体株指数が下落しており、海外関連株売りの流れが波及。米中通商問題の余波を受けるかたちで、足元の為替が円高方向に振れたことも買いを手控えさせた。

### ヤマシタヘルス上方修正

4日、ヤマシタヘルスケアホールディングス(9265)が一時ストップ高。

18年5月期の連結業績予想を上方修正、

### あく抜けの可能性

先週の東京株式市場は3週続落となりました。日経平均は先週3月安値を割り込んでしまいました。このことで5月高値と6月高値の2万3000円台のダブルトップが確定しました。

そのため、投げ売りにより7月5日には2万1462円まで下落しました。3月安値から5月高値に対する61.8%押しは2万1380円であり、5日の安値で目先的には底打ちに近づいたものと考えます。

6日にはついに米中間で25%の関税が発動されました。しかし、それを境にあく抜け感が台頭してきました。今週は10日に株価指数連動型ETFの分配金が支払われます。2013年~16年はこの分配金支払時期が短期的な転換点になりました。

ここより7月末辺りまでは強気で対処したいところです。

日々勇太郎



## 企業レター

TOA (6809)

は音と防災をテーマとした創作人形劇「カンカン塔の始まり番」の2018年度公演を開始する。子どもたちの防災意識醸成を目的に、企業メセナ活動の一環として16年度からスタートした創作人形劇で17年度までに計9回

### TOA

## 子どもたちの防災意識醸成へ



### カンカン塔の見はり番特設サイト

実施、子供から大人まで約110名が観覧し、

全国各地で公演を予定している。音による情報伝達、とくに危機を報せる音をテーマとした完全オリジナル作品で、人形劇の上演を通じて災害時に音に注意を払い、自ら考えて避難行動をとることの重要性を訴求。全国の学校や児童館、地域の防災イベントなど、子どもたちが集まる場所でも上演する。上演依頼・観覧希望者も特設サイトから。WEB絵本も公開している。

特設サイト <https://www.toa.co.jp/mecenat/kkt/>

WEB絵本 <https://www.toa.co.jp/mecenat/kkt/ehon/>

co.jp/mecenat/kkt/ehon/

## 東京個別は赤字縮小

5日、東京個別指導学院(4745)が大幅続伸。19年2月期第1四半期の単独決算は、売上高36億7900万円、経常損益6億1900万円の赤字(前年同

営業利益を2億4000万円から3億7300万円へ、期末一括配当を19円から25円(前期10円)へ引き上げた。医療機器消耗品が順調に増

加、内視鏡備品やサークルを上回り、グループ化したトムス器が当初予想を上回ったことなどが要因

期は7億5700万円の赤字)と増収で赤字が縮小した。授業料に加え講習会売り上げも堅調に推移。株価は年初来安値圏にあったことから買戻しが優勢になった。

# 豪州で大規模宅地開発

## 大和ハウス工業

### 小田急とシドニーに東京ドーム19個分

（9007）とオーストラリア・シドニー郊外で大規模住宅地「ボックス・ヒル・プロジェクト」（仮称）の開発に着手する。4月13日、現地の開発会社「ディーエッチ・ボックス・ヒル」を設立。オーストラリア政府外国投資審査委員会の審査を終え、7月から造成工事に着手するとともに分譲地の販売を開始することになった。同社は住宅地開発・分譲事業などでこれまでに海外20カ国に進出。小田急は国内で運輸・不動産事業などを手がける一方、グループ会

社が中国やカンボジアに進出するなど、海外事業展開を進めており、国内外で培ってきた不動産や住宅開発ノウハウを活かして、オーストラリアで良質な戸建住宅用地を開発を進める。東京ドーム約19個分にあたる89haの敷地に約1500区画の宅地を開発する計画で、8期に分けて造成。同社グループの住宅建設・販売会社「ロイヤルグループ」をはじめ現地の住宅会社や個人顧客にも販売する。最初の開発エリア約160区画は7月に着工、順次販売を開始する予定で、最終的に25年12月末までに事業を完了させる。

## 企業レター

### 大和ハウス工業（1925）は小田急電鉄

期比9・7%増）、営業利益は133億1900万円（同12・2%増）、純利

# 良品計画は急反落

## 1Q12%営業増益も出尽くし

5日、良品計画（7453）が急反落。19年の第1四半期（連結決算）を公表、営業収益は1065億2100万円（前年同



良品計画日足チャート

益は95億4200万円（同21・7%増）と2ケタ増益となったが、材料出尽くし感から売りがかさんだ。国内の衣服・雑

### 公開価格の2.8倍

### ロジザードの初値

5日、前日に東証マザーズに新規上場したロジザード（4391）が公開価格900円の2.8倍となる2500円で初値を付けた。同社は在庫管理システムによる提供を行う。

### 公開価格53%上回る

### キャンディルの初値

5日、キャンディル（1446）が東

# エーザイ急伸し高値

## BAN2401がトップライン

週末6日、エーザイ（4523）が急伸、年初来高値を更新した。バイオジェン・インクが抗アミロイドβ（Aβ）プロトタイプβ抗体BAN2401の早

証マザーズに新規上場、公開価格1180円を52・5%上回る1800円で初値を付けた。同社は建

築サービス関連事業（リペア、住環境向け建築、商環境向け建築サービス、商材販売）を行う。

### トーセ営業利益2倍強

6日、トーセ（4728）が急反発。18年8月期第3四半期累計の連結決算を発表、営業利益8400万円（前年同期比2・1倍）、純利益は7600万円（同4・2倍）と大幅な増益だったことが材料視された。複数のスマートフォン向けゲームで業務を着実に遂行、東南アジア向けコンテンツ配信事業への先行投資が減少したことも利益を押し上げた。

### 自動車関連買われる

6日、トヨタ自動車（7203）をはじめ自動車関連が軒並み買い進まれた。独メルケル首相が米Uが課す関税を引き

## 今週の動意銘柄

企業レター

# 中国EC独占販売権を取得 「レヴール」などヘアケア4ブランドで

## キリン堂H

国内360店舗の薬局・ドラッグストアを展開するキリン堂は2017年12月にRIZAPグループ(2928)の資本下にて新生したジャパンゲートウェイから「レヴール」などの商品の中国ECでの独占販売権を取



レヴールゼロ

キリン堂ホールディングス(3194)の子会社で、関西を中心に内ドラッグストア・GMSで人が拡大している。今回、ジャパンゲートウェイの販売総代理店であるフォーヴィスムと、「レヴール」、「メルサボン」、「美肌一族」、「リガオス」の4つのブランドの商品の独占販売権契約を締結。ジャパンゲートウェイとの協力体制を構築し、日本を代表するヘアケアブランドを中国へと向けて、新たな第一歩を踏み出す。

キリン堂は2014年に日本のドラッグストアチェーン企業として初めて中国越境ECサイト「天猫国際」に出店し、中国での「レヴール」ブームを巻き起こした。そのノンシリコンシャンプーの火付け役である「レヴール」ブランドから、今年5月15日に「ノンカチオン・トリートメント」という新カテゴリをキーワードにヘアケア商品が発売され、

得たことを発表した。発表し

企業レター

# ワンピース・プレミア・サマー

7月6日～9月30日開催

エヴァンゲリオンXRライドも期間限定で復活

USJ



ワンピース・プレミアショー2018支持され、いまやユニバーサルスタジオ・ジャパンの夏を代表するイベントのひとつへと成長。メインとなるライブ・エンターテイメント「ワンピース・プレミアショー2018」に加え、びしょ濡れ必至の水かけバトル

「ワンピース・プレミア・サマー」は、毎年多くのゲストに駆けて5日にメディア公開を実施した。期間限定イベント「ワンピース・プレミア・サマー」を、7月6日～9月30日に開催。開催に先

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、週刊少年ジャンプで連載中の大人気コミック「ONE PIECE(ワンピース)」をテーマにした

「ワンピース・ウオーターバトル」もパワーアップ。さらに、昨年も完売続出の大人気レストラン「サンジの海賊レストラン」と、多くのコンテンツが登場し、この夏も一日中、ここでしか体験することのできない「ONE PIECE」の世界を楽しむことができる。

6日からはエヴァ史上初のライド・アトラクションとして登場し、その満足度は驚異の99%を獲得するなど、多くのゲストから大好評を博した「エヴァンゲリオン XRライド」も2019年1月6日の期間限定で復活する。ゲストはここでしか体験することのできない臨場感により、完全にエヴァンゲリオンの世界に没入することができる。

世界に没入することができる。

## 潮流

## CTAが大規模相場操縦

## プログラム売買野放しは甚大な損失

marKet/bAnk

国際商品市場で原油価格の上昇が続いている。反面、銅相場の下落に歯止めがかからない。

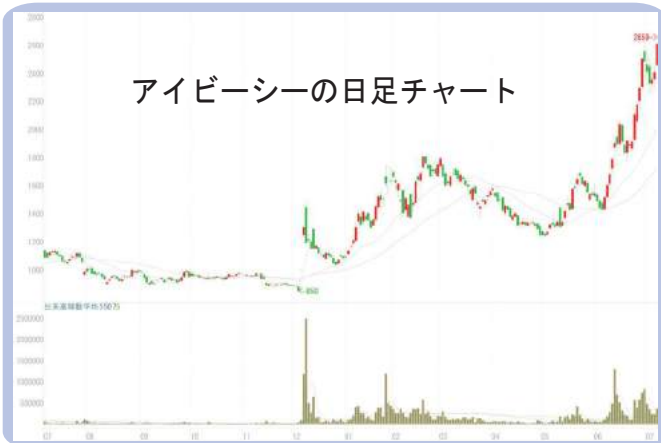
原油も銅も世界の経済情勢を反映しやすいが、足元の動きは真逆だ。ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)からは説明がつかない原油高・銅安を主導しているのは、コンピューターを使ってプログラム売買する投機筋の商品投資顧問(CTA)だ。

ニューヨーク市場のWT I (ウエスト・テキサス・インターメディアエート)原油先物は7月3日に一時1バレル75.27ドルと2014年11月下旬以来、約3年7カ月ぶりの高値を付けた。CTAの主な標的はWT I原油先物とNY商品取引所(COMEX)の銅先物とみられる。

WT Iの上昇が進む一方でCOMEX銅が6月以降、下げ足を速めている。銅や原油は中国の景気に左右されやすい。米国と中国が7月6日にそろって追加関税を発動し、米中の貿易摩擦激化が予想される中、中国景気を冷え込ませて資源需要の減退につながるとの懸念から、銅を売っている。ただ、原油買いは説明がつかない。

CTAが原油買い・銅売りを進める背景には今年前半の成績不振があるという。商品市場は、

アイビーシーの日足チャート



他の市場に比べて市場規模が小さいため、思った方向に相場を動かしやすい。CTAは起死回生を狙い、巨額の資金を集中投下させるときに選んだのが原油と銅だったという訳だ。しかし、力任せで相場操縦して作

られた価格が長く続くことは無い。

現在の日本株式市場もCTAやヘッジファンドといった投機筋が自分の都合の良いように「225先物とドル円」のプログラム売買で相場操縦している。株式市場が何の理由もなく乱高下することがよくあるが、その原因はCTAによるプログラム売買だ。頻繁に行うのは「円買い・225先物売り」のプログラム売買だ。その他にも「日経VI指数買い・225先物売り」や「中国株式指数売り・225先物売り」などその時に最も動かしやすい指数先物と225先物のプログラム売買を行う。プログラム売買は大規模な相場操縦に等しい。日本の市場は適度な出来高と取引し易い市場があるので投機筋には好都合なのだ。投機筋のプログラム売買を野放しにしていることが日本にとって甚大な損失である。

潮流銘柄はアイビーシー(3920)、アルヒ(7198)、シュッピン(3179)。



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

何の理由もなく乱高下

# チャートから読む 騰落銘柄

## スタートトゥデイ (3092)



6月14日に4490円の高値更新後に調整していたが50日線手前で下げ止まり、25日線水準まで戻す。新生ZOZOビジョンの発表会でカスタムオーダーのビジネススーツ投入を発表し期待高まる。

## テリロジー (3356)



高値圏で三角保ち合い煮詰まる。画像認識技術を活用した自社開発の定型業務自動化ロボット作成ツールによるRPA市場開拓へ期待が強く、3月に付けた年初来高値658円奪回からまずは700円台へ。

## カカコム (2371)



6月15日に2547円の高値更新後にジワリと下げる展開。25日線を割れたことから50日線近辺までの調整を想定。動きは鈍いがM&A効果などで業績は好調で、突っ込み場面があれば買い好機か？

## アドバンテスト (6857)



日足陰転のあと戻り試すが、上値抵抗ゾーンの2600円が壁になり下落が続く。26週移動平均割れから下げ渋るものの、需給が重荷で上値は重い。12カ月移動平均も割り込み、2000円近辺まで調整も。

※チャートは日足



## 今週の

## 活躍期待銘柄



## 明治HD (2269)

## 今3月期会社計画は保守的

明治ホールディングス(269)は全般的に地合い悪から、50日移動平均線割れまで売られているが、9000円近辺では下げ渋る動きとなっており、好実態から押し目買いで対処したい。

19年3月期は通期連結売上高で1兆2600億円(前期比1・5%増)、営業利益で995億円(同5・1%増)と原材料や経費などのコスト増を考慮して微増収増益の予想ながら、加工食品ではチーズの価格改定効果が見込めるなど価格改定や容量変更などによる取り組みを進めており、会社側計画は保守的と判断したい。

化学及血清療法研究所の主要事業を現物出資により承継しており、バイオ事業への取り組みも注目され、栄養事業では「ザバス」が競技者層に加えてスタイルアップ層への取り組みで新しい。 (と)

## バイオ分野への取組みも注目



## 東京製鐵 (5423)

## 19年3月期は2ケタ増収増益

東京製鐵(5423)は1月に付けた年初来高値1037円を前に足踏みが続いているが、4ケタ割れ水準で値固めが進み一段高へ進みそう。都市再開発に加え、東京五輪関連工事が本格化、鋼材需要は底堅く、原材料の鉄スクラップ単価上昇に対応した値上げも進んでいる。岡山工場連続製造機立ち上げ費用や在庫評価損を計上したことから前期は利益横ばいとどまっていたが、19年3月期は売上高2060億円(前期比25・5%増)、営業利益120億円(同14・6%増)と2ケタ増収増益を見込む。レーザ切断性の高い鋼板や特寸H形鋼など付加価値品の拡大により、収益上振れも期待できる状況だ。

信用倍率は0・43倍、貸借倍率0・08倍とで買戻しに加え、229万株を上限とした自社株買いも下支えを支えることになる。 (き)

## 買戻しと自社株買いが下支え

週明には転機迎える

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

この欄を執筆している5日の東京市場は日経平均が2万1500円を割るところまで下落しました。

しかし、大きく値を消す銘柄

が目立つ一方、反発を窺う銘柄もみられるようになりました。日経平均は先物主導で続落しているのですが、目標は2万1000円がメドとみられていますが、6日の米中の関税導入合戦の発端までと思われず。2万1000円割れはともかく、6日の発動までとみるならば、週明けからは転機を迎えられる予想です。

不合理な水準に下落した銘柄多い

5日の相場では1月高値期日の接近による売り同時に担保切れの投げなど、底入れ現象が昨日に続いてみられました。

多くの銘柄

柄が昨年9月の水準を下回っていることは実質的に2万円割れを経験したことになります。好決算で収益力などを考えた場合、そこまですべて値を下げるのか?と首を傾げる銘柄も多くています。先物主導とはいえ、不合理な水準まで下落した銘柄が多いのも事実であり、こういう相場はいつまでも続くものではないと思います。厳しい相場ではありますが、間もなく、ここはじつと耐えて凌ぎましょう。

この欄で紹介しておりますテックファーム(3625)が1400円も割ってしまいました。サイコロジカルラインも2勝10敗になりました。陰の極状態です。それを考えると間もなく反転するタイミングが近づいたとみています。余力のある方は是非、ナンピンをかけてください。HE ROZ(4382)が反落しました。4連騰したのですから当然の押しでしょう。

本日の狙いはここ数日、厳しい相場のなかで上値をギリギリととっている合同製鉄(5410)に目を離せません。また、OTTO(5332)、タクマ(6013)も同様の動きになっており、注目すべきでしょう。



高野恭壽公式ホームページ  
高野恭壽の株式市場情報  
これでどや!!  
http://www.kabun-takano.com/  
毎日情報を配信中!

# 星野三太郎の 株街往来

～株主総会を終えて～

6月

末の恒例行事は株主総会に出席することで、今年も取材として招待を受けた企業と筆者が保有している銘柄を株主として出席した。

どの企業も個性があつて株主の出席を増やすべく創意工夫している。お土産は渡さないが、株主からの質問には、脱線し過ぎと思わせるほど丁寧

に回答をしていて、それを楽しみに出席している株主が多い企業や、外食の企業では総会後の懇親会が株主から高く評価されている企業もある。

筆者が今年初めて出席した株主総会では、総会場と隣接して自社の商品を展示している企業が印象的だった。各事業毎にその担当者を配置。その会社は介護分野にも展開しているのだが、女性株主からの質問にその事業担当者が熱く語っていた。筆者もつい一緒に聞き入ってしまったが、説明を受けた女性株主は、「今年の2月に株を購入したが、今の話を聞いて長期保有したいと思う」と語っていた。

株を購入するのは値上り益と配当や優待が目的になるが、企業とその経営者、そして社員の熱意も魅力を高める要因になると感じた。



## 企業レター

### 無線LANでネット送信

BeaBridge Gatewayを発売

#### アプリクス

#### ビーコンが発信する情報受信

アプリクス（3727）は、新製品「BeaBridge Gateway」を7月20日から、同社のオンライン通販ショップ「mybeaconstore」で発売する。

この新製品は、Beacon（ビーコン）がBluetooth（Bluetooth Low Energy（BLE））経由で発信する情報を無線LAN経由でインターネットに発信するためのゲートウェイ。発信された情報は同社のクラウドにシームレスに集められ、ユーザーはその情報をいつでも

ダウンロードして活用できる。

ビーコンは、BLEなどの近距離無線を使い、周囲に情報を発信する装置。BLE対応のビーコンは、電池駆動するものが多く、比較的自由に設置場所を選べるといった優位性があるが、直接インターネットに接続することはできない。

ないため、インターネットへ情報を送信するには、スマートフォンなどを経由する必要はある。しかし、ビーコンを無線LANにも対応しようとする、消費電力が大きくなる、SSIDやパスワードを設定する方法が必要になるなどの問題が起きる。

この新製品は、Beacon（ビーコン）がBluetooth（Bluetooth Low Energy（BLE））経由で発信する情報を無線LAN経由でインターネットに発信するためのゲートウェイ。発信された情報は同社のクラウドにシームレスに集められ、ユーザーはその情報をいつでも



BeaBridge Gateway

敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

短期リバウンドも

ETF再分配の買いに期待

先週の日経平均は月曜日からは木曜日まで4日連続下落し、木曜日には2万1462・95円の安値を付けた。

先週は上海指数に連動する動きとなり、特に後場から売られるケースが多かった。米中貿易摩擦の世界経済への影響が懸念された相場であるが、現金化を急ぐ外人投資家の売り圧力が強かった。

7月入りした相場であるが、今年の月足に注目したある研究所がある。終値ベースで見た日経平均の月足チャートは1月〜3月までは陰線、4月陽線、5月、6月陰線となった。このパターンは戦後1回しかなく、1995年だけであった。

この年は1月に阪神淡路大震災があり、翌96年には消費税増税が決まっていた。相場は年頭に1万9600円の安値を付けた。

その後相場は反転し、年末には1万8500円まで回復している。今年も大阪に震度6の地震があり、来年10月には消費税増税が見込まれている。奇しくも環境は似ているというわけだ。

テクニカル的には現在騰落レシオが78%台、ストキヤストとは20%前後と短期で売られすぎのシグナルが発生している。また、PBも1・18倍と割安とされる1・2倍を割っている。

今週のスケジュール

- ・ 6日 米6月雇用統計、米5月貿易収支 (21:30)  
米中は制裁関税発動の可能性
- ・ 9日 5月国際収支 (8:50)  
6月景気ウォッチャー調査  
5月景気動向指数 (14:00)  
黒田日銀総裁が日銀支店長会議で挨拶  
さくらレポート (地域経済報告)
- ・ 10日 6月マネーストック (8:50)  
中国6月生産者物価、中国6月消費者物価 (10:30)  
独7月ZEW景況感指数 (18:00)
- ・ 11日 6月国内企業物価指数、5月機械受注 (8:50)  
5月第三次産業活動指数 (13:30)  
北大西洋条約機構 (NATO) 首脳会議、トランプ大統領も出席 (~12日ブリュッセル)  
米6月生産者物価 (21:30)
- ・ 12日 6月都心オフィス空室率
- ・ 13日 オプションSQ  
中国6月貿易収支

場もありそうである。チャートは完全に崩れているので、本格上昇には時間がかかりそうであるが短期リバウンドに期待したい。戻りメドは転換線の2万1915円処、それを抜けてくると下げ幅の38・2%戻しのできそうである。一方、下値は5日の安値2万1462円、それを抜けてくると週足の一目均衡表の下限2万1100円まで下がりそうである。

今週はS/Q週なので、日中も大きく上下に動きそうである。しばらく上海指数から目が離せない。

(ハチロク)

編集後記

米中通商問題を懸念して下値模索となった。大事にはならないだろう、筆者もタカをくくっていた一人だが、実際に欧州も巻き込み制裁関税発動合戦という予想以上の事態に発展した。国際分業を否定する経済合理性を欠いた行為で、米経済界も拒否反応を示しているが、優位に立てる二国間交渉や北朝鮮問題を巡る中国との水面下での駆け引きなど、政治的な意味合いは大きいのだろう。

それにしても持続性に乏しいパフォーマンスに見えてならない。過度に反応する場面は買いでいいだろう。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。